

< あなたの治療について >






血内 - KPD - MM - q4w - 7コース目以降






今回の治療は、KPDという治療法で、カiproリス（CFZ）という注射薬とポマリスト（POM）とレナデックス（DEX）という内服薬を併用して行います。カiproリス、ポマリストは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。レナデックスは副腎皮質ステロイドですが抗腫瘍効果があり、また、前記の薬と併用して治療を手助けする大事な役目をはたしています。3つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1、2、15、16日目に点滴を行います。また、ポマリストを1～21日目、レナデックスを1、8、15、22日目に服用します。この治療を4週間（28日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目	8日目	9~14日目
①	ポマリストカプセル (抗がん剤)	内服				
②	レナデックス錠 (ステロイド)	内服		お休み		お休み
	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2日目	3~14日目	
①	カiproリス (抗がん剤)	点滴 約30分			お休み	

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	15日目	16~21日目	22日目	23~28日目
①	ポマリストカプセル (抗がん剤)	内服				お休み
②	レナデックス錠 (ステロイド)	内服		お休み		お休み
	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	15日目	16日目	17~28日目	
①	カiproリス (抗がん剤)	点滴 約30分			お休み	

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

ポマリストカプセル、カイプロリスについて

- 好中球減少、血小板減少、貧血 ●発疹 ●疲労 ●不眠症

◎特徴的な副作用について

ポマリストカプセルにおける

- 傾眠、錯乱、疲労、意識レベルの低下、めまい

自動車の運転等危険を伴う機械の操作は行わないように注意すること。

- 急性腎障害

「顔や手足がむくむ、からだがだるい、尿の量が減る、尿が赤みを帯びる、発熱、発疹、お腹が痛む、吐き気、下痢、節々が痛む、体重が減る」などの症状

カイプロリスにおける

- 肝機能障害

「発熱（38～39℃）、ぶつぶつ様の発疹、食欲がなくなる、気分が悪くなる、下痢になる、しだいに強くなる全身のだるさ、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい」などの症状

- 不整脈（QT 延長）

「めまい、動悸、胸が痛む、胸部の不快感、脈が跳ぶような感じ」などの症状

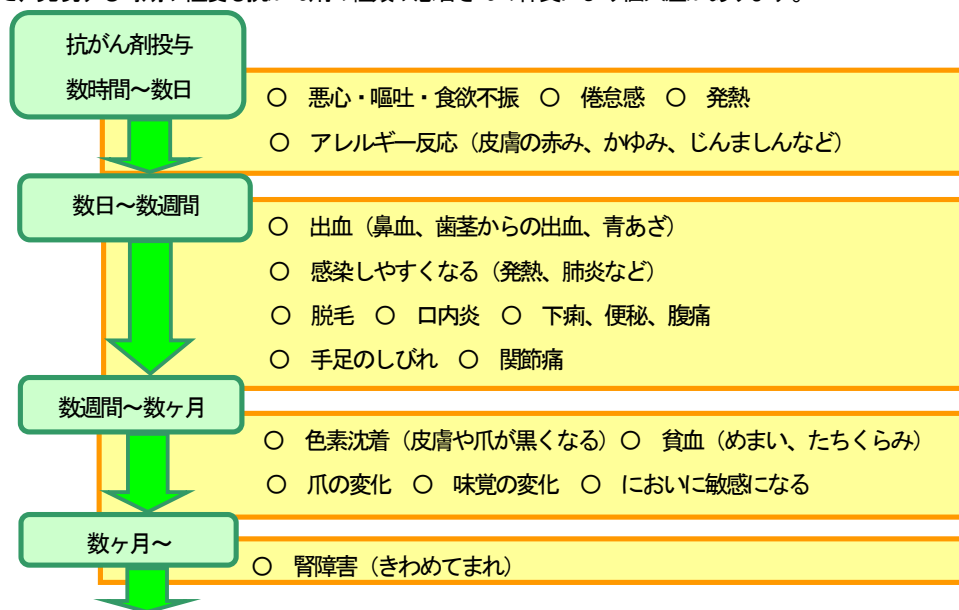
*上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ポマリストカプセル】

- ＜深部静脈血栓症、肺塞栓症＞急激な手足の腫れ・痛み・しびれ・発赤、呼吸困難、胸痛
- ＜脳梗塞＞突然認める片側の手足や顔の麻痺、しびれ、意識障害
- ＜骨髄抑制＞全身倦怠感、発熱、歯ぐきの出血
- ＜感染症＞咳、痰、発熱
- ＜間質性肺疾患＞発熱、から咳、呼吸困難

【カイプロリス】

- ＜心障害＞動悸、息切れ、むくみ、胸の痛み
- ＜間質性肺疾患＞発熱、から咳、呼吸困難
- ＜肺高血圧症＞呼吸困難、胸の痛み
- ＜肝不全、肝機能障害＞全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる
- ＜急性腎不全＞尿量が減る、むくみ、頭痛
- ＜腫瘍崩壊症候群＞意識の低下、尿量が減る、息切れ
- ＜骨髄抑制＞発熱、出血しやすい、疲れやすい、息切れ
- ＜インフュージョン・リアクション（薬剤注入に伴う反応）＞発熱、関節痛、顔面潮紅、嘔吐、息切れ、失神
- ＜血栓性微小血管症＞出血しやすい、鼻血、歯肉出血、紫斑、血尿
- ＜可逆性後白質脳症候群、脳症＞けいれん、頭痛、意識障害、視力障害
- ＜高血圧、高血圧クリーゼ＞頭痛、頭重、めまい、肩こり
- ＜静脈血栓塞栓症＞むくみ、熱感、局所の痛み
- ＜出血＞突然の頭痛、意識障害、運動のまひ、腹痛、血を吐く、便が黒くなる
- ＜感染症＞かぜのような症状、全身倦怠感、発熱、嘔吐
- ＜消化管穿孔＞吐き気、嘔吐、激しい腹痛、血を吐く、下血

◎上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。